※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	標準版　コールユーブンゲン（全曲）付録・合唱基本練習曲 （全音楽譜出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「視唱」「視奏」「聴音」三つの内容を学習する。それぞれの力をつけることで譜面から得られる知識が増え、演奏に対する学習の深まりが得られます。
・音高やリズムを楽譜から読み取り正しく表現することと、音楽理論とも結びつけて習得することを目指します。
学習の到達度は、実技テスト、ワークシートで評価します。

２　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。
a:音程・リズムを正しく演奏でき、楽譜に書き写すことができることを目標とする。
b:知識・技能を元にメロディーを感じて、拍子感覚を磨き、音の役割、微妙な長さの調整など、本講座及び他の講座の曲を理解する基礎を養うことを目標とする。
c: 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、積極的かつ地道に真剣に取り組んでいる。仲間との教え合い等を通してともに音楽をする楽しさ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てることを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・正確な音程、リズムを表現するための歌唱、演奏の技術や書きとる力を習得する。 ・正確な音程、リズムを楽譜から読み取ることができる。 ・読み取った音程、リズムを書き写すことができる。	・正確な音程、リズムを正しく表現したり、書き写したりするとともに楽譜から強弱やフレーズ感覚を読み取って表現することができる。 ・ソルフェージュの各知識を活かしてに様々な楽器を演奏できる。	・音楽の基礎的な要素（音高・リズム・フレーズなど）が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。 ・音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組んでいる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		視唱Ⅰ 「コールユーブンゲンⅠ」 Ｎｏ．１７ ２度音程まで	a:音程のずれ、休符の長さを意識し、楽譜通りに歌えている。隣り合う音程感覚の把握、四分音符・二分音符の違いに気づいている。 b:アクセント、ブレスを把握し、メロディーのフレーズを感じて、拍子感をもって演奏している。 c:音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組んでいる。	・実技テスト	・実技テスト	・観察(声の大きさ、口の開き方など)
		聴音Ⅰ 「旋律の書き取り」 穴うめ聴音　プリント	a:音楽の流れの中で、リズム・音程を把握し、正しく記述するための技能を身につけている。 b:書きとった楽譜と聴こえてくる旋律の違いを認識できる。限られた回数の聴取で旋律を確実に書き取る工夫をしている。 c:　音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、主体的に、地道に真剣に取り組んでいる。	・実技テスト ・毎回の課題プリント	・実技テスト ・毎回の課題プリント	・観察
		クラシックギターの独奏 **「弾き歌いに挑戦」** 選択曲から任意の曲を選択し、弾き歌いする。	a:正しい奏法で、楽譜に忠実に音をとることができる。 b:メロディーの起伏や音の高さの移り変わりやコードの変化から曲の流れを感じ取って表情豊かな演奏ができる。 c:ソルフェージュ力を駆使して主体的に演奏しようとする姿勢があり、練習している。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 ・練習記録

※令和４年度以降入学生用

		視唱Ⅱ 「コールユーブンゲンⅡ」 Ｎｏ．２０ ３度音程を中心に	a:音程のずれ、休符の長さを意識し、楽譜通りに歌えている。３度離れた音程感覚の把握、四分音符・二分音符の違いに気づいている。 b:アクセント、ブレスを把握し、メロディーのフレーズを感じて、拍子感をもって演奏している。 c:音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組んでいる。	・実技テスト	・実技テスト	・観察(声の大きさ、口の開き方など)
		聴音Ⅱ 「旋律の書き取り」 穴うめ聴音　プリント	a:音楽の流れの中で、リズム・音程を把握し、正しく記述するための技能を身につけている。 b:書きとった楽譜と聴こえてくる旋律の違いを認識できる。限られた回数の聴取で旋律を確実に書き取る工夫をしている。 c:　音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、主体的に、地道に真剣に取り組んでいる。	・実技テスト ・毎回の課題プリント	・実技テスト ・毎回の課題プリント	・観察
		ハーモニー唱 「旋律に合わせてハーモニーパートを創作して歌唱する」	a:各パートのメロディーの音を正しくとるとともに、楽典の知識を活用しながらハーモニーを考えている。 b:他のパートと共に一つの表現をするために必要なテンポキープやフレージングを意識して演奏している。また、ハーモニーを感じながら演奏している。 c:主体的に音楽をしようとする姿勢があり、他者と協同してよいものを演奏しようとする姿勢がある。	・実技テスト ・練習記録	・実技テスト ・練習記録	・観察 ・練習記録

※令和４年度以降入学生用

		視唱Ⅲ 「コールユーブンゲンⅢ」 Ｎｏ．２７ 付点リズムまで	a:音程のずれ、休符の長さを意識し、楽譜通りに歌えている。５度音程感覚の把握、八分の六拍子と四分の三拍子の拍子感の違いに気づいている。 b:アクセント、ブレスを把握し、メロディーのフレーズを感じて、拍子感をもって演奏している。 c:音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組んでいる。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 (声の大きさ、口の開き方など)
		演奏実習 自由な課題による演奏発表	a:正確な音程とリズム、拍子感覚で譜読みができている。 b:授業で身につけたソルフェージュ力を活用して表現を工夫している。 c: :歌唱、あるいは器楽、各自が選択した分野の演奏に主体的に取り組んでいる。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 ・練習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度